



投資環境

2021年5月13日

米インフレ懸念から金融市場は不安定な動き

米金融市場はインフレ懸念から不安定な動き

米国ではインフレへの懸念から金融市場がやや不安定な動きになっていましたが、5月12日に発表された4月の消費者物価指数が市場予想を大幅に上回る伸びとなったことから、インフレ懸念が一段と強まりました(図表1)。

インフレ懸念から米国株は大幅続落、米10年債利回りは一時4月5日以来の1.7%まで上昇、米金利の先高観が強まり、ドル円も108円台後半から109円台後半に大きく上昇する動きになりました。

4月の米CPIは予想を上回る大幅な伸び

4月の米消費者物価指数(CPI)は前月比0.8%上昇と、2009年以来の大きな伸び、また前年同月比は4.2%上昇と、2008年以来の大幅な伸びとなりました。変動の大きい食品とエネルギーを除くコアCPIも前月比0.9%上昇と、1982年以来の大きな伸び、前年同月比は3.0%上昇と、1996年以来の大幅な伸びとなりました。

コロナ禍で物価が落ち込んだ1年前の反動で大きく上昇するとの予想だったものの、この予想を大幅に上回りました。前月比でも大きく伸びたことから、4~6月は昨年反動から上振れるものの、その後は落ち着くとの見方が揺らいだ格好です。

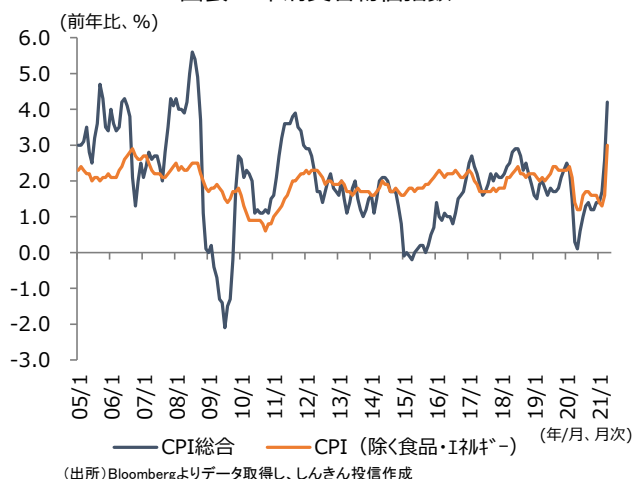
期待インフレ率も上昇

米国のインフレ連動債が織り込む今後5年間の期待インフレ率(ブレイクイーブンインフレ率、BEI)は、昨年9月下旬には1.4%台(年率)の水準でしたが、昨年末には1.96%、今月10日には2.73%と、2006年以来の水準まで上昇、12日には2.75%弱まで上昇しました(図表2)。

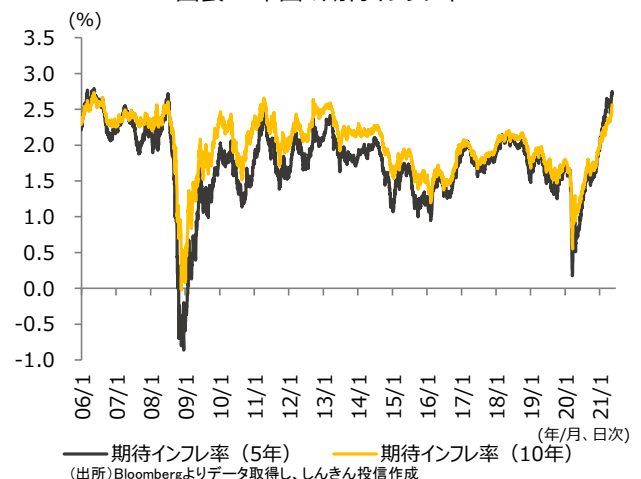
米連邦準備制度理事会(FRB)が2%を超えるインフレ率を許容する姿勢を示す中、新型コロナウイルスのワクチン接種が進展し、経済正常化が加速するとの期待に加え、大規模な経済対策による景気の押し上げ観測が、期待インフレ率上昇の主因とみられます。また、景気回復により、原材料やエネルギーなどの需要が増えるとの期待から商品価格が上昇していることも、期待インフレ率を押し上げている模様です(図表3)。

加えて、米労働省が5月11日に発表した3月の雇用動態調査(JOLT S)では、求人数が812.3万件と過去最高を記録した一方、採用件数は600.9万件と大きな乖離があります。人手不足による労働単価の上昇観測も、期待インフレ率を押し上げている可能性があります(図表4)。

図表1. 米消費者物価指数

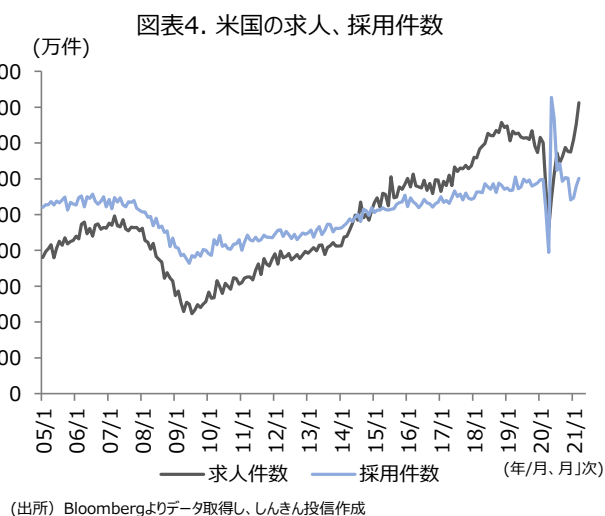
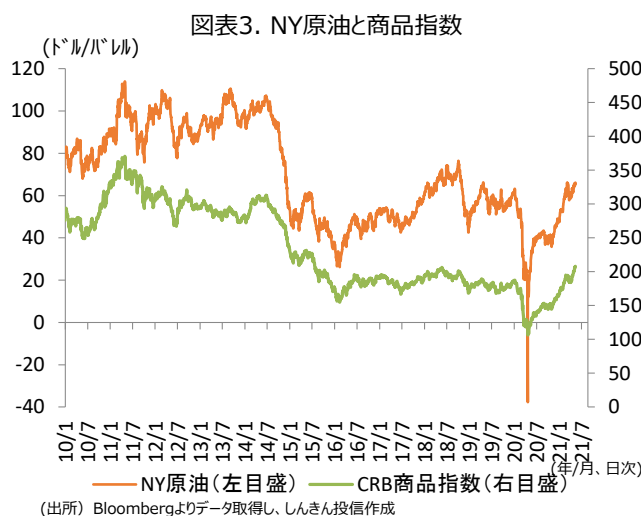


図表2. 米国の期待インフレ率





しんきんアセットマネジメント投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第338号
 Shinkin Asset Management Co., Ltd 加入協会／一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
 〒104-0031東京都中央区京橋3丁目8番1号 URL: https:// www.skam.co.jp



□ FRBのテーパリングをにらみ、神経質な動きが続く可能性

FRBは、物価上昇は一時的との見解を示すとともに、金融緩和の縮小（テーパリング）の議論は時期尚早としています。とはいえ、カナダ銀行（中央銀行）は4月の金融政策決定会合で、国債の購入額を減額することを決定、またイングランド銀行（英中央銀行）は5月6日、8,950億ポンドの資産買入れ枠は維持したものの、週間の国債買入れ規模の縮小を決定しました。欧州中央銀行（ECB）についても、6月の会合で債券買入れの減額を議論するとの見方が出ています。

FRBについては、8月のジャクソンホール会議でパウエルFRB議長が、米国債などを買入れ入れる量的緩和の縮小を示唆するとの見方が広がっていましたが、物価の上振れを受けて、もう少し早い時期（6月や7月の米連邦公開市場委員会（FOMC））にテーパリングが議論されるとの見方も出てきます。

米金融市場では期待インフレ率が大きく上昇してきており、将来的な物価上昇をある程度織り込んだ可能性はあります。とはいえ、米金融当局者が繰り返し示している“インフレ率が上昇しても一時的”なものになるかどうかを確認しながらの、やや神経質な動きがしばらく続く可能性があります。

(シニアストラテジスト 鈴木和仁)



しんきんアセットマネジメント投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第338号
Shinkin Asset Management Co., Ltd 加入協会／一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
 〒104-0031東京都中央区京橋3丁目8番1号 URL: [https:// www.skam.co.jp](https://www.skam.co.jp)

＜本資料に関してご留意していただきたい事項＞

- ※本資料は、ご投資家の皆様に投資判断の参考となる情報の提供を目的として、しんきんアセットマネジメント投信株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。
- ※本資料は、信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。また、いかなるデータも過去のものであり、将来の投資成果を保証・示唆するものではありません。
- ※本資料の内容は、当社の見解を示しているに過ぎず、将来の投資成果を保証・示唆するものではありません。記載内容は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。
- ※投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の補償の対象ではありません。また、金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- ※投資信託は、値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、預金と異なり投資元本が保証されているものではありません。運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。
- ※特定ファンドの取得のお申込みに当たっては、販売会社より当該ファンドの投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ又は同時にお渡しいたしますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。また、請求目論見書については、販売会社にご請求いただければ、当該販売会社を通じて交付いたします。

【お申込みに際しての留意事項】

■ 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式や債券等の値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、預金と異なり投資元本が保証されているものではありません。運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。

また、投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面をよくご覧ください。

■ 投資信託に係る費用について

（お客様に直接ご負担いただく費用）

- ◆ ご購入時の費用・・・購入時手数料 **上限 3.3%(税抜 3.0%)**
- ◆ ご換金時の費用・・・信託財産留保額 **上限 0.3%**

（保有期間中に間接的にご負担いただく費用）

- ◆ 運用管理費用（信託報酬）・・・純資産総額に対して、**上限年率 1.628%(税抜年率 1.48%)**
- ◆ その他の費用・・・監査費用、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、有価証券売買時の売買手数料等および外貨建資産の保管等に要する費用は、ファンドより実費として間接的にご負担いただきます。また、投資信託証券を組み入れる場合には、お客様が間接的に支払う費用として、当該ファンドの資産から支払われる運用管理費用、投資資産の取引費用等が発生します。これらの費用につきましては、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。投資信託に係る上記費用（手数料等）の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、しんきんアセットマネジメント投信が運用する全ての投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、事前に投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面をよくお読みください。

- ※「日経平均株価」（日経平均）に関する著作権、知的所有権その他一切の権利は日本経済新聞社に帰属します。日本経済新聞社は日経平均株価を継続的に公表する義務を負うものではなく、その誤謬、遅延又は中断に関して責任を負いません。
- ※東証株価指数（TOPIX）は、東京証券取引所の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用など株価指数に関するすべての権利は東京証券取引所が有しています。東京証券取引所は、TOPIXの算出若しくは公表の方法の変更、TOPIXの算出若しくは公表の停止又はTOPIXの商標の変更若しくは使用の停止を行う権利を有しています。
- ※東証REIT指数は、東京証券取引所の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用など、東証REIT指数に関するすべての権利は、東京証券取引所が有しています。